



明治機械株式会社

2024年6月14日

各位

明治機械株式会社
代表取締役社長 日根 年治
(コード番号: 6334 東証スタンダード)
問合わせ先: 総務部長 高工 弘
電話: 03-5295-3511 (代表)

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、2024年6月14日開催の取締役会において、新たに太陽光発電システムを基幹とした通信ネットワークシステム事業を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業開始の背景・趣旨

当社は、お客様に信頼され満足される商品・サービスを提供し、社会に貢献する企業であることを企業理念として、創業以来120年以上にわたり、製粉事業を始めとする食品産業で利用される機械の製造販売や食品工場等を建設するプラントエンジニアリング事業を経営の柱としています。また、事業方針・重要施策として、既存のコア事業を中心とした収益基盤の確立・向上に加えて、成長事業領域の探求及び参入検討を掲げています。

2024年1月に発生した能登半島地震時、各通信キャリアは、移動基地局車や船上基地局衛星通信を活用することにより、避難所等における通信環境の確保に貢献しました。しかしながら、地震による停電などにより多くの携帯基地局が機能停止となったことから、通信ネットワーク網の確保の重要性が再認識されました。一部の地域では、通信復旧までに数週間の期間を要し、さらに衛星通信に必要な電力確保等の課題も浮き彫りになりました。

このような状況を鑑みて、当社は、新たに他社製品も活用した太陽光発電システムを基幹とした通信ネットワーク事業に参入することを決定しました。当社は、社会の大規模災害への備えや企業のBCP対策推進に貢献することにより、成長事業領域での新たな収益基盤の構築を図り、企業価値の向上に取り組んでまいります。

2. 本事業の概要

(1) 本事業の内容

当社は、株式会社カンスト（本社：神奈川県横浜市、代表者：池光 博昭、以下「カンスト」と言う）など数社が提供する商品及びサービスを組み合わせ、「どんなときも

安心のWi-Fi環境と明るさ」をテーマに3WAYポール「そ・ら・こ（以下「当製品）」と言う」を開発しました。

当製品が提供する機能は、①平時や大規模災害時でも、衛星からの通信環境を広域エリア（避難所全体）に拡張できるメッシュルータ、②太陽光発電からの蓄電による電力の確保、③夜間の照明としても利用可能な3つの機能です。

今後、当社は、当製品の販売を契機として、カンストなど数社と連携し、全国の自治体、民間企業および観光産業へ向けた太陽光発電システムを基幹とした通信ネットワーク事業の展開を進めてまいります。

(2) 本事業を担当する部門

明治機械株式会社 新規事業推進部

(3) 本事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

現在精査中であり、今後開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年6月14日（金）
(2) 事業開始日	2024年6月14日（金）

4. 今後の見通し

本事業による当社 2025年3月期連結業績に与える影響は、現在精査中でございます。今後、開示が必要な状況になった場合は、速やかに公表いたします。

以上

通信の課題を解消する 太陽光発電システムを基幹とした 通信ネットワークシステム事業への参入

～どんなときも、安心のWi-Fi環境と明るさを～

< 3WAYポール「そ・ら・こ」 >

※商標登録申請中

2024年6月14日

能登半島
地震発震
後の被災
地状況

『電源喪失』・・・停電の長期化影響
による情報インフラ機能の喪失

『暗闇に怯える情報難民』・・・
暗闇の中で情報遮断

能登半島地震では停電や地震により839ヶ所の携帯基地局が機能停止に・・・

【今後の想定：南海トラフ巨大地震・首都直下型地震、その他自然災害】

災害時に
通信ネット
ワークが必
要な場所

現地対策本部
(情報収集・
指令拠点)

救助
活動拠点

医療
活動拠点

避難所、
その他

安否確認・情報収集

緊急の
課題

停電や地震などの自然災害時に
通信基地局の機能停止に影響を
受けない通信ネットワーク網の構築

当該課題に取り組むため、当社として
通信ネットワーク事業に参入を決定
※ライフラインの確保へ向けて

観光地などでみられる状況

『通信遅延』『電波遮断』・・・
データ通信の遅延や電波遮断による利用者の不満

この傾向は、大勢の人が集まるお祭りやイベント開催時などでもみられる

通信ネットワークの拡充が必要な場所

観光地
(屋内・屋外)

イベント本部
(情報収集・指令拠点)

イベント開催場所
(観客)

救急など、医療活動拠点

不安定な通信ネットワーク事情、緊急時の安否確認など

改善すべき課題

観光地やイベント会場など人が多く集まる場所での安定した広域通信ネットワーク網の構築

当該課題に取り組むため、当社として通信ネットワーク事業に参入を決定
※緊急時同様に社会ニーズあり

「そ・ら・こ」 の役割

『自然災害の被災地』におけるライフライン課題の解決
『観光地やイベント会場』における通信障害課題の解決

製品の 特長

1. 通信環境を広域エリアに確保できるメッシュWi-Fiネットワークシステム
 2. 太陽光発電の蓄電による電力の確保
 3. 明るい夜間照明として暗闇をなくす防犯機能
- ⇒ 3WAYポール「そ・ら・こ」の定点設置で上記3つの特長を実現

メッシュWi-Fi機能

1本で約100mの範囲を通信可能に
(複数の設置により広域Wi-Fi網を構築)



★「そ・ら・こ」に組み込む
(株)カnst製品「Battery Connect」



電源不要

太陽光発電/蓄電機能を保有
(災害時の停電時も電源を確保)



照明機能

夜間は街路灯として活躍
(暗闇をなくし防犯効果に寄与)





～どんなときも、安心のWi-Fi環境と明るさを～

◆ 下記は小中学校などの緊急避難所を想定 ◆



社会的課題を解決する技術革新

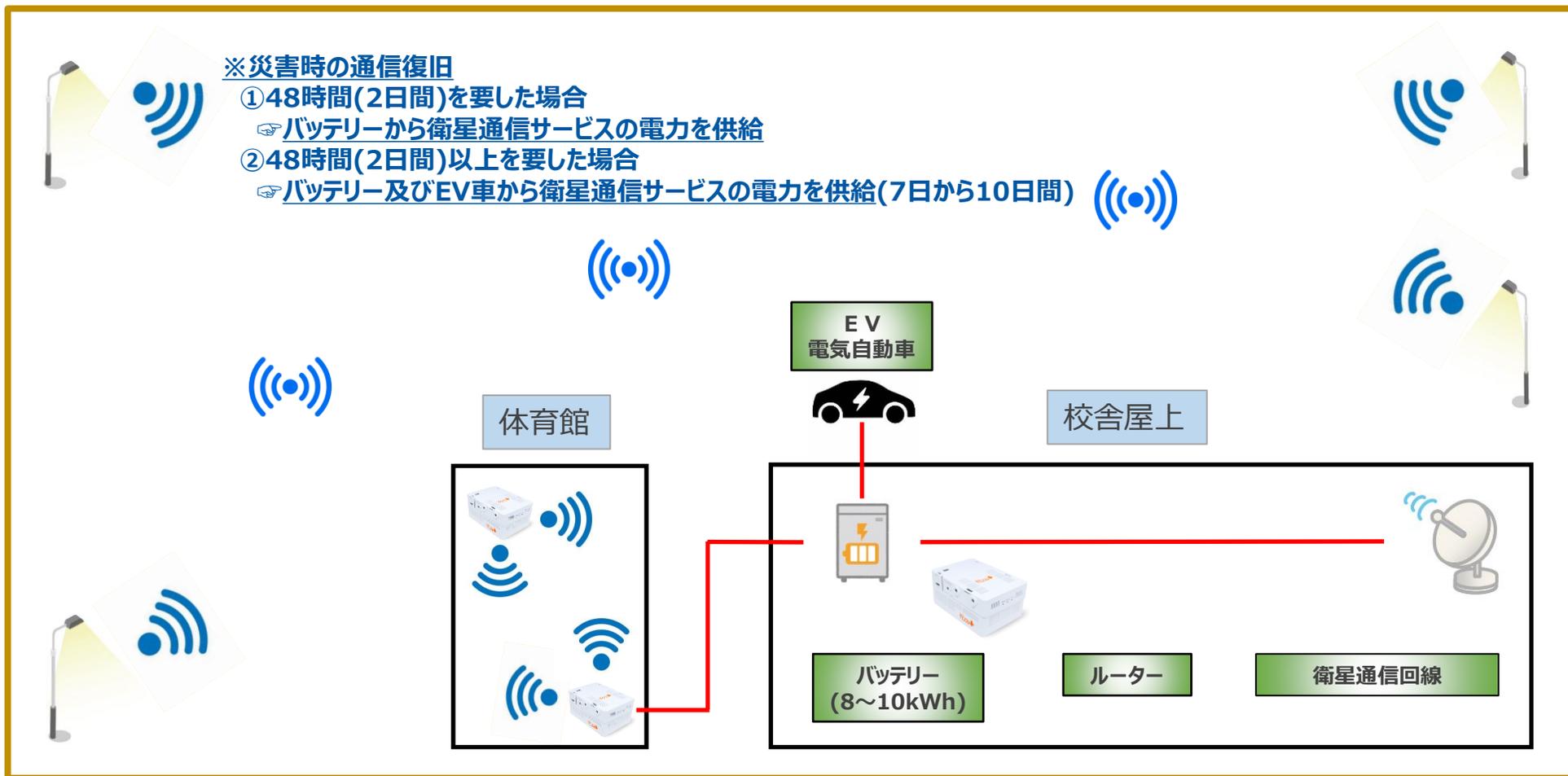
※災害時の通信復旧

① 48時間(2日間)を要した場合

☞ バッテリーから衛星通信サービスの電力を供給

② 48時間(2日間)以上を要した場合

☞ バッテリー及びEV車から衛星通信サービスの電力を供給(7日から10日間)



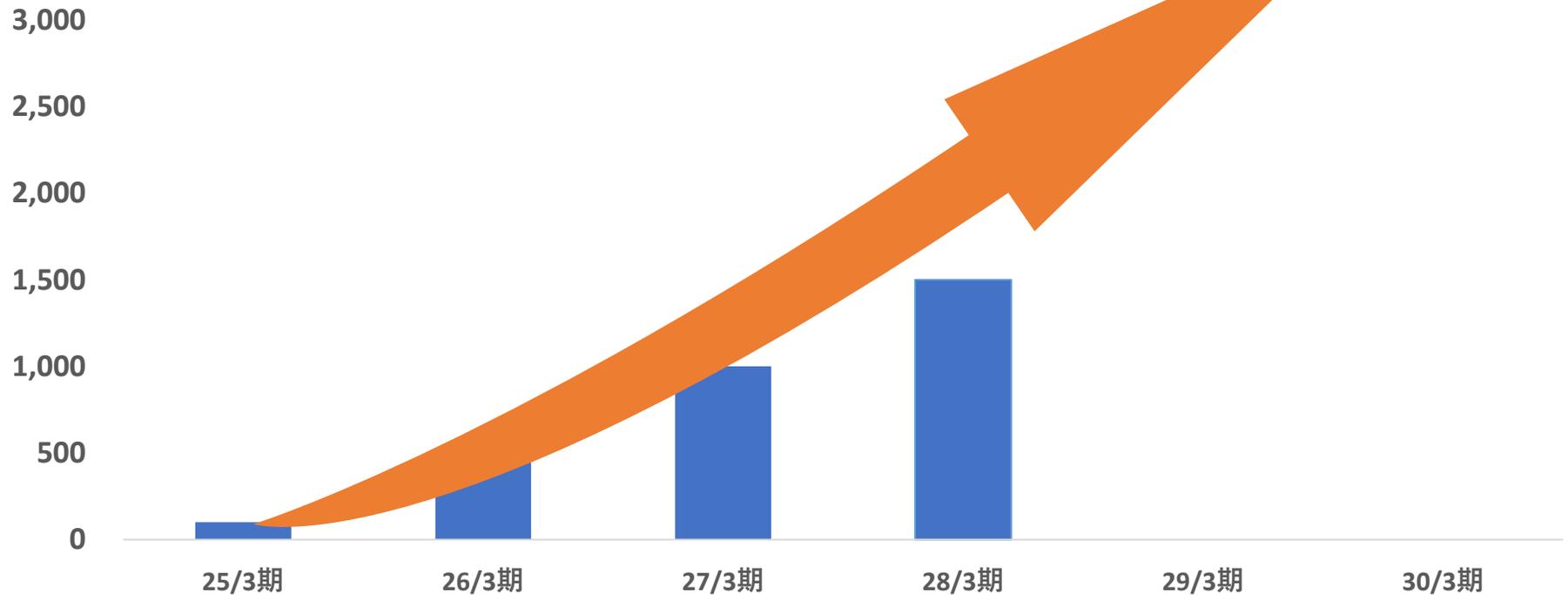
既存事業＋新規事業で中期的には成長軌道へ

中期的な成長軌道の考え方

1. 既存(製粉、プラント等)事業は中期的に緩やかな成長を目指す
2. 新規(通信ネットワーク)事業は26/3期から本格的な売上開始を計画
3. 27/3期以降は新規事業を全社成長のドライバーへ

<金額：百万円>

新規事業売上高予定推移



3WAYポール「そ・ら・こ」目標販売台数(金額)と問い合わせ先

◆目標販売台数、販売金額

	第150期 (2025年3月期)	第151期 (2026年3月期)
1. 販売台数	100台	500台
2. 販売金額	100百万円	500百万円

※調査及び設置工事は除く

◆当製品、および通信ネットワーク事業全般に対する問い合わせ先

明治機械株式会社 新規事業推進部

Tel:(03)5295-3511(代表)

E-mail:弊社のHP「メールでのお問い合わせ」よりご連絡お願いします

<https://www.meiji-kikai.co.jp/>